

平成19年8月6日

各位



財団法人メディポリス医学研究財団  
代表者名 理事長 永田 良一  
問合せ先 事務局長 本田 知章  
(0993 - 23 - 5188)

メディポリス医学研究財団(平成18年3月20日設立、理事長:永田良一)は、8月6日に三菱電機株式会社(執行役社長:下村節宏)、ならびに株式会社日本設計(取締役社長:六鹿正治)と業務委託契約を締結し、粒子線がん治療研究センターに導入予定の陽子線がん治療研究装置ならびに建築の基本設計と実施設計の発注を正式決定いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

メディポリス医学研究財団(鹿児島県指宿市東方4423番地)は、総合医療都市「メディポリス指宿」において、平成23年度に九州初となる粒子線がん治療研究センターを開設する予定です。この医療施設では、粒子線(陽子線)を用いて、からだに優しいがん治療の研究および実践により、県民はもとより、国内外のがん患者さんのQOL向上に大きく寄与することを目的としています。

今回、メディポリス医学研究財団が導入を決定した三菱電機社製の粒子線治療装置は、現在、国内で稼動中または建設予定の粒子線がん治療専用施設8施設のうち、6施設で採用され、99%という高い稼動実績を有しております。

### 【装置の概要】

1. 製品名:粒子線治療装置(陽子タイプ)
2. 医療機器製造販売承認番号:21500BZZ00391000
3. 仕様 (1)ビーム種:陽子線  
(2)エネルギー:70~250MeV  
(3)主加速装置:シンクロトロン
4. 照射室:回転ガントリー照射室 3室
5. 対象がん:脳腫瘍および固形がん

### 【施設の概要】

1. 構造:鉄筋コンクリート造
2. 規模:地上2階地下3階 延床面積:約5,700㎡

### 【備考】

1. メディポリス医学研究財団は、がんを中心とした疾患の診断および治療に関する研究、ならびに予防医学やこころのケア等に関する研究や事業を行い、国民の医療向上や安心して生活できる環境の構築を目指し、健康増進に貢献することを目的に設立された公益法人です。

当財団は、鹿児島県指宿市に「南九州から世界に向けて“光”を放つ医療」を基本コンセプトとして、粒子線治療施設をはじめとする高度先端医療センターを整備する他、予防医学、こころのケア、創薬臨床研究の各拠点を整備するプロジェクトである「メディポリス指宿構想」に取り組んでいます。総敷地面積103万坪を有する施設には、予防医学センターと、こころのケアセンターが、平成19年6月から稼働を始めています。



粒子線がん治療研究センター完成予想図

2. 粒子線治療は、陽子や炭素等の重粒子を用いた放射線治療の1つで、従来のX線やγ線などの光子線による治療に比べ、患部に集中的に照射できるという特性があり、治療による副作用や身体の機能の損失を最小限に抑えられます。国内では平成6年から臨床試験が開始され、平成13年7月に先進医療として認可されました。現在、国内では粒子線治療の施設として、兵庫県立粒子線医療センターはじめ6つの公的医療機関で治療や臨床研究が行われています。

以上